

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【公開番号】特開2016-220942(P2016-220942A)

【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2015-110318(P2015-110318)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/496 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 U

A 4 1 B 13/02 T

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月15日(2017.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長手方向と横方向と厚さ方向とを有し、
吸収性本体と、レッグギャザー部と、ベルト部と、を備えた吸収性物品であって
前記吸収性物品を前記吸収性本体の前記長手方向に沿って伸長させた状態において、
前記レッグギャザー部は、前記吸収性本体の前記横方向の両側に配置され、
前記ベルト部は、前記吸収性本体の一部及び前記レッグギャザー部と前記厚さ方向に重複するように配置され、

前記ベルト部及び前記レッグギャザー部のうち少なくとも一方に設けられた切り欠き部によって一対の脚回り開口部が形成されており、

前記ベルト部は、前記長手方向の両端部から前記脚回り開口部に向かって前記横方向の外側へ傾斜した接合部にて、前記吸収性本体及び前記レッグギャザー部と接合されており、

前記脚回り開口部の前記長手方向の前端と前記吸収性本体の前記長手方向の前端との間の距離が、

前記脚回り開口部の前記長手方向の後端と前記吸収性本体の前記長手方向の後端との間の距離よりも短く、

前記脚回り開口部の周縁部には、伸縮性を有する弾性シート部材が前記長手方向に伸長された状態で配置されており、

前記レッグギャザー部と重複する領域に配置されている前記弾性シート部材は、前記脚回り開口部の前記長手方向の中央位置における前記横方向の幅が、前記脚回り開口部の前記長手方向の後端における前記横方向の幅よりも狭い、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の吸収性物品であって、

前記レッグギャザー部は、前記脚回り開口部の前記長手方向の前端と、前記脚回り開口部の前記長手方向の後端との間に、前記横方向の幅が最も狭くなる部分を有する、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の吸収性物品であって、

前記ベルト部は、前記脚回り開口部の前記長手方向の前端と、前記脚回り開口部の前記長手方向の後端との間に、前記横方向の幅が最も狭くなる部分を有する、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記レッグギャザー部の前記脚回り開口部の前記横方向内側の領域には、糸状弾性部材が前記長手方向に伸長された状態で配置されており、

前記脚回り開口部の前記長手方向の中央位置における前記脚回り開口部の端部と前記糸状弾性部材のうち前記横方向の最も外側に配置されている前記糸状弾性部材との間の前記横方向の距離は、

前記脚回り開口部の前記長手方向の前端若しくは後端における前記脚回り開口部の端部と前記糸状弾性部材のうち前記横方向の最も外側に配置されている前記糸状弾性部材との間の前記横方向の距離よりも小さい、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記レッグギャザー部と前記ベルト部とが一の部材によって形成されている、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 6】

長手方向と横方向と厚さ方向とを有し、

吸収性本体と、レッグギャザー部と、ベルト部と、を備えた吸収性物品であって

前記吸収性物品を前記吸収性本体の前記長手方向に沿って伸長させた状態において、

前記レッグギャザー部は、前記吸収性本体の前記横方向の両側に配置され、

前記ベルト部は、前記吸収性本体の一部及び前記レッグギャザー部と前記厚さ方向に重複するように配置され、

前記ベルト部及び前記レッグギャザー部のうち少なくとも一方に設けられた切り欠き部によって一対の脚回り開口部が形成されており、

前記ベルト部は、前記長手方向の両端部から前記脚回り開口部に向かって前記横方向の外側へ傾斜した接合部にて、前記吸収性本体及び前記レッグギャザー部と接合されており

、
前記脚回り開口部の前記長手方向の前端と前記吸収性本体の前記長手方向の前端との間の距離が、

前記脚回り開口部の前記長手方向の後端と前記吸収性本体の前記長手方向の後端との間の距離よりも短く、

前記長手方向の前側において形成される第 1 接合部と前記長手方向とがなす角度のうち小さい方の角度は、

前記長手方向の後側において形成される第 2 接合部と前記長手方向とがなす角度のうち小さい方の角度よりも大きい、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記接合部と前記脚回り開口部との間には所定の間隔が設けられている、ことを特徴とする吸収性物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するための主たる発明は、長手方向と横方向と厚さ方向とを有し、吸収

性本体と、レッグギャザー部と、ベルト部と、を備えた吸収性物品であって前記吸収性物品を前記吸収性本体の前記長手方向に沿って伸長させた状態において、前記レッグギャザー部は、前記吸収性本体の前記横方向の両側に配置され、前記ベルト部は、前記吸収性本体の一部及び前記レッグギャザー部と前記厚さ方向に重複するように配置され、前記ベルト部及び前記レッグギャザー部のうち少なくとも一方に設けられた切り欠き部によって一対の脚回り開口部が形成されており、前記ベルト部は、前記長手方向の両端部から前記脚回り開口部に向かって前記横方向の外側へ傾斜した接合部にて、前記吸収性本体及び前記レッグギャザー部と接合されており、前記脚回り開口部の前記長手方向の前端と前記吸収性本体の前記長手方向の前端との間の距離が、前記脚回り開口部の前記長手方向の後端と前記吸収性本体の前記長手方向の後端との間の距離よりも短く、前記脚回り開口部の周縁部には、伸縮性を有する弾性シート部材が前記長手方向に伸長された状態で配置されており、前記レッグギャザー部と重複する領域に配置されている前記弾性シート部材は、前記脚回り開口部の前記長手方向の中央位置における前記横方向の幅が、前記脚回り開口部の前記長手方向の後端における前記横方向の幅よりも狭い、ことを特徴とする吸収性物品である。